

# 令和3年度 認知症介護実践者研修（第3回）

老施連認知症介護実践者研修

## 開催要綱（予定）

### 1 目的

認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できる基礎的及び実践的な認知症介護の知識と技術を身につけ、その具体的な実践を展開できる、介護現場における中核的な役割を担う認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。

### 2 主催

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟

### 3 開催期日

令和4年1月13日（木）～14日（金）、26日（水）～28日（金）、3月9日（水）の6日間  
及び4週間の自施設実習

（中間報告日2/15（火）には、コーディネーターより必ず指導が受けられる状況にあること。なお、必ず勤務している必要はありません。詳細については5日目の課題設定の講義で説明があります。）

### 4 場所

東区地域福祉センター（東区社協） 3階 大会議室1・2・3  
広島市東区東蟹屋町9-34

### 5 対象者

つぎの全ての要件を満たす者とする。

- ① 市内の介護保険施設・事業所に従事する介護職員等
- ② 認知症の知識に関して、介護福祉士等の知識又はそれと同様の知識を有している者
- ③ 身体的介護に関する基本的知識・技術を習得している者であって、介護保険施設・事業所等において介護実務に概ね2年以上従事した経験を有している者
- ④ 研修を継続して全日程を受講することができ、自施設にて4週間（日常業務を行いながら設定した課題に取り組み）、研修終了後学んだことを実践できる者

- 6 参加費 29,000円〔会員外〕  
5,000円〔会員等〕

### 7 目的及び内容

	日時	テーマ	講師氏名	目的
1 日 目	9:00～9:20	受付		
	9:20～9:30	開会挨拶 オリエンテーション	・公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 研修部会	
	9:30～12:30	I 基本的理解 認知症ケアの基本的視点と理念	・認知症コーディネーター 津崎 善幸	高齢者の背作における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築を促す。
	(45分)	休憩		
	13:15～14:15	I 基本的理解 認知症ケアの倫理	・認知症コーディネーター 岩本 陽子	認知症ケアの倫理の理念や原則を理解し、日常的なケアの場面での倫理的課題と本院や家族の意思決定や意思表示の判断の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。
	14:25～17:25	I 基本的理解 認知症の人の理解と対応	・認知症コーディネーター 岩本 陽子	加齢に伴う心身の変化、疾病、認知症原因疾患、中核症状、心理的特徴を理解した上で、行動・心理症状（BPSD）の発生要因と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。
	17:25～18:00	振り返り・アンケート		

	日時	テーマ	講師氏名	目的
2 日 目	9:15～10:45	I 基本的理解 認知症の人の家族への支援方法	・認知症コーディネーター 吉田 祐樹	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	10:45～12:45	I 基本的理解 認知症の人の権利擁護	・認知症コーディネーター 大城 真也	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	(45分)	休憩		
	13:30～15:30	I 基本的理解 認知症の人の生活環境づくり	・認知症コーディネーター 小谷川 恵	住まいの様式、介護者のかかわりなど認知症の人を取り巻く生活環境の構築や改善のための評価方法や調整方法を修得する。
	15:35～17:35	I 基本的理解 地域資源の理解とケアへの活用	・認知症コーディネーター 室谷 美佐	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができる。
	17:35～18:00	振り返り・アンケート		
3 日 目	9:20～11:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人とのコミュニケーションの理解と方法	・認知症コーディネーター 池野 啓介	認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身につける。
	11:20～12:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への非薬物的介入 (1部)	・認知症コーディネーター 梶原 宣志	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取り組みを認識しつつ、
	(50分)	休憩		認知症の人の心理的安定や生活の質を向上するためのかつどうについて理解を深めること。
	13:10～14:10	認知症の人への非薬物的介入 (2部)	(午前II コマ目第1部継続)	
	14:20～17:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への介護技術 I (食事・入浴・排泄等)	・認知症コーディネーター 時光 桂太	食事・入浴など基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、日常生活の安全・安心の向上、健康の維持増進を図りつつ、認知症の人の能力に応じた自立支援の実践ができる。
17:20～17:50	振り返り・アンケート			
4 日 目	9:20～12:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への介護技術 II (行動・心理症状)	・認知症コーディネーター 福光 直美	認知症の人の行動背景を理解した上で、認知症の行動・心理症状 (B P S D) に対してチームで死活の質が高められるような支援方法を修得する。
	(50分)	休憩		
	13:10～17:10	II 具体的支援方法と展開 アセスメントとケアの実践の基本 I	・認知症コーディネーター 岩本 陽子	認知症の人の身体的要因、心理的要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い、具体的ニーズを把握することができるようアセスメントの基本的視点を理解する。
17:10～17:50	振り返り・アンケート			
5 日 目	9:20～12:20	II 具体的支援方法と展開 アセスメントとケアの実践の基本 II (事例演習)	・認知症コーディネーター 浦元 こずえ	アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践に関する計画の作成・立案ができる。チームケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。
	(50分)	休憩		
	13:10～17:10	III 実習 自施設における実習の課題設定	・認知症コーディネーター 大城 真也	認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する。
	17:10～17:50	振り返り・アンケート		
4 週 間		III 実習 自施設実習 (アセスメントとケアの実践)	各自施設	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開することができる。

日時	テーマ	講師氏名	目的
6 日 目	9:20~12:30	Ⅲ 実習 自施設実習評価（まとめ）	・認知症コーディネーター 福光 直美 アセスメントやケアの実践に関する計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。
	(60分)	休憩	
	13:30~17:00	認知症の人の日常生活・社会生活における意志決定ガイドライン	・認知症コーディネーター 岩本 陽子 認知症の人を支える周囲の人において行われる意思決定支援の基本的考え方（理念）や姿勢、方法、配慮すべき事柄等を整理して示し、これにより、認知症の人が、自らの意思に基づいた日常生活・社会生活を送れることを目指すものである。
17:00~17:50	まとめ 閉会式等	・公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 研修部会	

## 8 研修コーディネーター（認知症介護指導者養成研修修了者）

社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷	副施設長	三澤 広隆
社会福祉法人あと会 特別養護老人ホームくにくさ苑	相談支援員	室谷 美佐
社会福祉法人IGL学園福祉会 特別養護老人ホーム第二ナシグホームゆうゆう	施設長補佐	中本 優子
社会福祉法人福祉広医会 特別養護老人ホーム悠悠タウン江波	介護職員	岩本 陽子
社会福祉法人可部大文字会 特別養護老人ホーム山まゆ2号館（ユニット型）	施設長	梶原 宣志
メディカル・ケア・サービス株式会社 愛の家グループホーム広島矢野西	副ホーム長	浦元 こずえ
社会福祉法人福祉広医会 特別養護老人ホーム悠悠タウン江波	副主任	福光 直美
社会福祉法人慈光会 特別養護老人ホーム石内慈光園	総務部長	大城 真也
社会福祉法人慈光会 養護老人ホーム上安慈光園	総務部長	吉田 祐樹
社会福祉法人広島博愛会 特別養護老人ホーム五日市あかり園	機能訓練指導員	時光 桂太
医療法人社団恵愛会安佐病院 介護老人保健施設希望の園	介護主任	池野 啓介
社会福祉法人慈楽福祉会	管理者	津崎 善幸
社会福祉法人IGL学園福祉会 介護老人福祉施設IGLナシグホームシャレー	介護主任	小谷川 恵
	介護福祉士	
	介護支援専門員	西川 竜馬

## 9 研修参加にあたって

- ① 配布資料は、(1)開催要綱、(2)受講者名簿・班別名簿、(3)テキスト、(4)パンフレット、(5)名札  
※ その他、追加資料がある場合、随時配布をいたします。
- ② 出席の確認については、決定通知書に同封してある出席票並びに研修受講チェックシートを受講日毎に提出してください。なお全日程修了者（意思決定ガイドライン含む）に対して、修了証書を交付いたしますので、受講日毎に提出されない場合修了証書を交付できないこともあります。  
（初日：様式1、2日目から：様式2に必要事項の記入及び出席票に捺印して（自署は不可）提出）
- ③ 研修参加費については、研修日初日に受付にて現金でお支払いください。  
一旦納入された受講料の返金はできません。
- ④ 受講中の態度等について、研修の妨げとなったり他の研修生に迷惑を及ぼす行為や態度が見られる場合には、退室や受講中止の措置を講じる場合がありますので、ご了承ください。
- ⑤ 駐車場は事前に確保することはできません。公共交通機関をご利用ください。
- ⑥ 個人情報保護に関する取り扱い  
研修で知り得た個人情報は、正当な理由なく第三者に漏らしてはいけません。  
受講者の個人情報は、研修会の資料及び修了者名簿に必要な事項を記載するなど本研修会の目的以外の用途に、他へ提供及び預託はいたしません。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染防止により、別添の注意事項を確認のうえ、マスク・フェースシールドは必ず持参の上、研修に参加下さい。持参されていない場合、受講をお断りすることがあります。

## 10 個人情報保護に関する取り扱い

研修で知り得た個人情報は、正当な理由なく第三者に漏らしてはいけません。  
受講者の個人情報は、研修会の資料及び修了者名簿に必要な事項を記載するなど本研修会の目的以外の用途に、他へ提供及び預託はいたしません。  
ただし、修了者につきましては、広島市へ情報提供を行います。

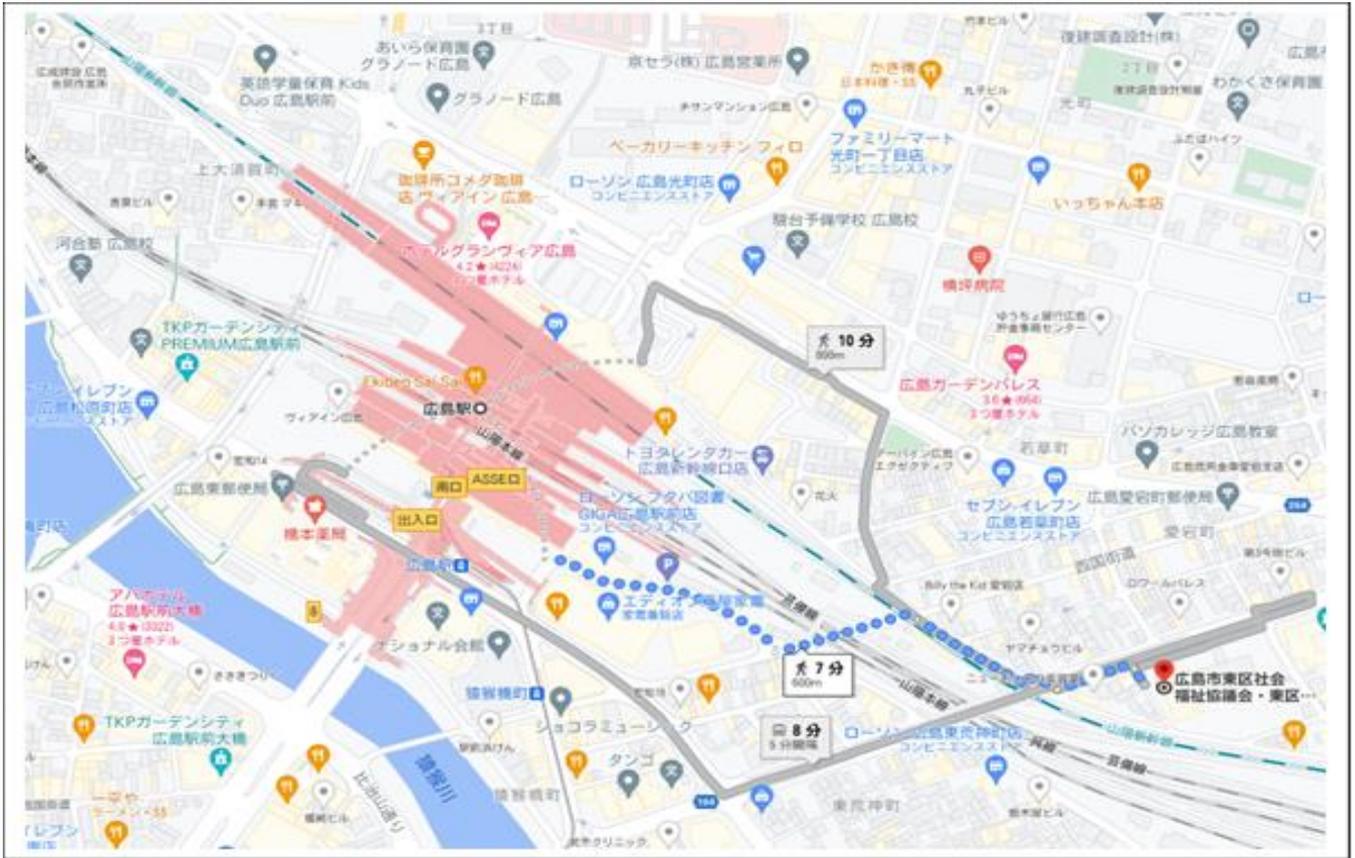
## 11 お問い合わせ／連絡先

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内

TEL : (082)207-0567 ・ FAX : (082)207-0576 ・ E-mail : rousiren@chive.ocn.ne.jp

## 12 研修会場案内



### 経路

#### ◆ 広島駅（北口）

西国街道経由 徒歩10分（800m）

#### ◆ 広島駅（南口）

双葉通り/県道84号経由 徒歩8分（600m）

#### ◆ 紙屋町・県庁前

広電バス2号線（県庁～府中ニュータウン/永田/温品） 東区役所前下車徒歩2分  
広島バス27号線中山線（県庁・紙屋町前～戸坂東浄行） 愛宕町下車

#### ◆ 広島バスセンター10番乗車場

広島バス29号線深川線（BC～小河原車庫行） 東区役所前下車徒歩2分  
※八丁堀賀茂鶴・広島駅前福屋バス停経由